



令和4年8月31日

報道関係者各位

帯広畜産大学

## 日本育種学会第142回講演会 市民公開シンポジウム 「日本の食料基地、十勝の農業を支える作物の品種改良」の開催について

日本育種学会2022年秋季大会では、市民の皆様に十勝の農業における品種改良の役割を知っていただく機会としまして、市民公開シンポジウムを企画しました。北海道十勝は、豊富な土地資源を活用した大規模畑作経営によって日本の食料基地の主要な一翼を担っていますが、その歴史は作物の病害や低温による生育不良との戦いの繰り返しでした。作物の品種改良はこれらの障害の解決に大きく貢献し、十勝の農業の発展を後押ししてきました。本シンポジウムでは、最初に十勝の開拓時代の農業に貢献した作物、続いて明治以降の小豆、甜菜、馬鈴薯の品種改良の歴史について紹介します。また、品種改良と生産現場でのスマート化に関わる最新の研究成果を紹介します。学生から一般市民まで広くご参加いただき、研究者とともに十勝の農業を支える作物の「たね」について、歴史の理解から未来について考える機会となることを期待しております。

つきましては、本シンポジウムの取材および関係各所への周知について、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

日 時：令和4年9月25日（日） 13:00～17:00（受付開始 12:30）

会 場：とちちプラザ 2階 レインボーホール

参加方法：事前申込みは不要です。当日会場までお越しください。

主 催：日本育種学会

共 催：帯広畜産大学、日本育種学会・作物学会北海道談話会、十勝農学談話会

寄付いただいた団体・企業名（五十音順）：帯広信用金庫、株式会社十勝大福本舗、株式会社バイオテック、株式会社満寿屋商店、株式会社山本忠信商店、カルビーポテト株式会社、十勝農業協同組合連合会、日本甜菜糖業株式会社、北海道糖業株式会社

お問合せ：日本育種学会第142回講演会運営委員会

担当：帯広畜産大学・環境農学研究部門・教授 加藤清明  
准教授 秋本正博

電話：0155-49-5477（加藤）、5480（秋本）

E-mail：ikushu@obihiro.ac.jp

日本育種学会第142回講演会  
市民公開シンポジウム

日本の食料基地、  
十勝の農業を支える作物の品種改良  
～農業大国・十勝で品種改良を学ぶ～



十勝の開拓以前の作物の栽培と品種

加藤 公夫 (元 北海道農業改良普及員)



十勝産小豆ブランドと品種改良のちから

堀内 優貴 (道総研 十勝農業試験場)



北海道におけるテンサイの品種開発

黒田 洋輔 (農研機構 北海道農業研究センター)



ポテトチップス原料に選ばれるバレイショとは？

五十嵐 俊哉 (カルビーポテト(株) 馬鈴薯研究所)



十勝におけるスマート農業への期待と育種への利用

白木 一英 (農研機構 本部企画戦略本部)

2022年9月25日(日) 13:00～17:00 (12:30 開場)

とかちプラザ2階 レインボーホール 参加無料, 登録不要

問い合わせ先：帯広畜産大学 電話：0155-49-5477 (加藤)、5480 (秋本)  
メール：ikushu@obihiro.ac.jp

主催：一般社団法人日本育種学会

共催：帯広畜産大学、日本育種学会・作物学会北海道談話会、十勝農学談話会

寄附頂いた団体・企業名 (あいうえお順)：

帯広信用金庫、(株)十勝大福本舗、(株)バイオテック、(株)満寿屋商店、(株)山本忠信商店、  
カルビーポテト(株)、十勝農業協同組合連合会、日本甜菜製糖(株)、北海道糖業(株)